

特43
515

蝸牛角上論

大日本圖書會館			
四		三	
一	〇	二	七
冊	號	架	函

013899-000-7

特43-515

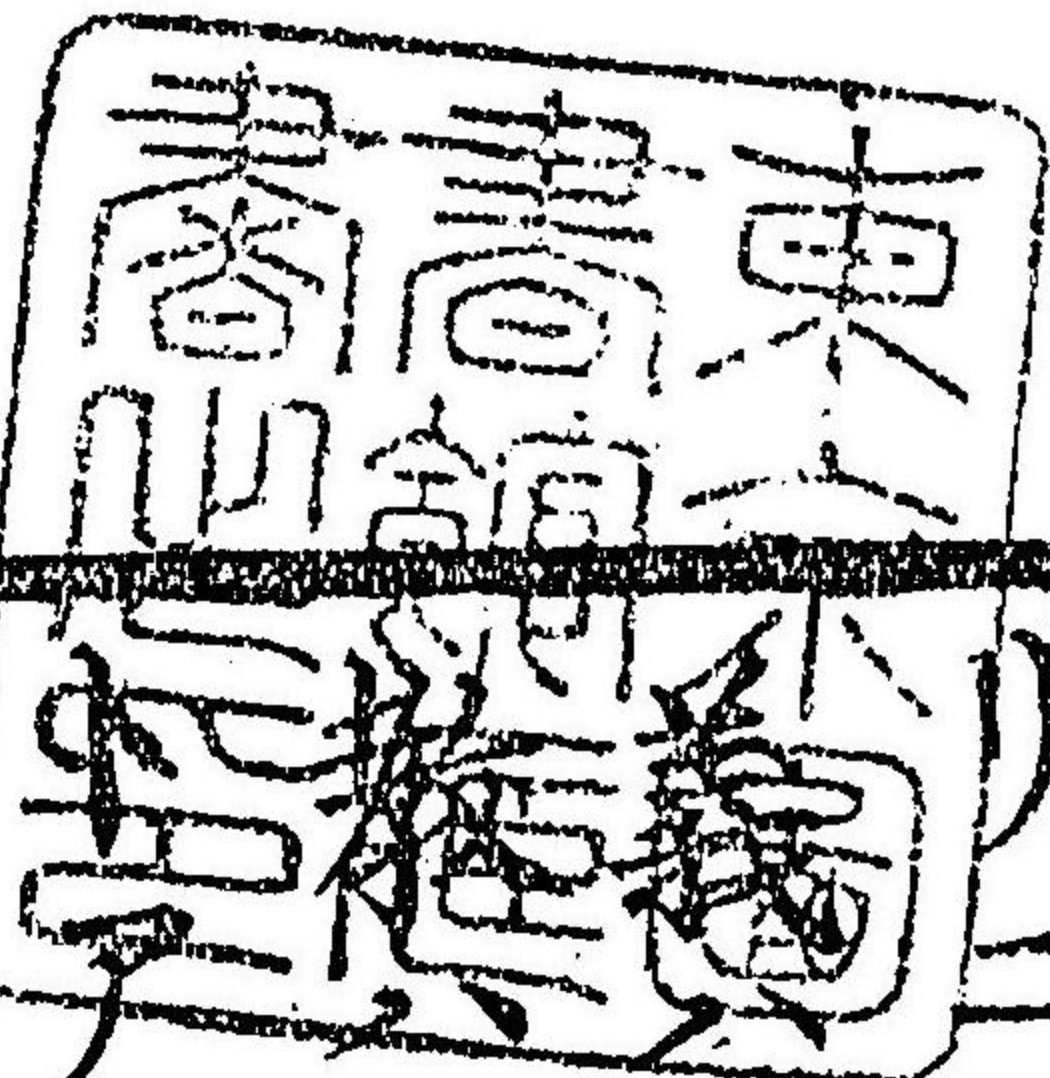
蝸牛角上論

松本 帶川/著

M13

ABB-0124





蝸牛角上論自叙

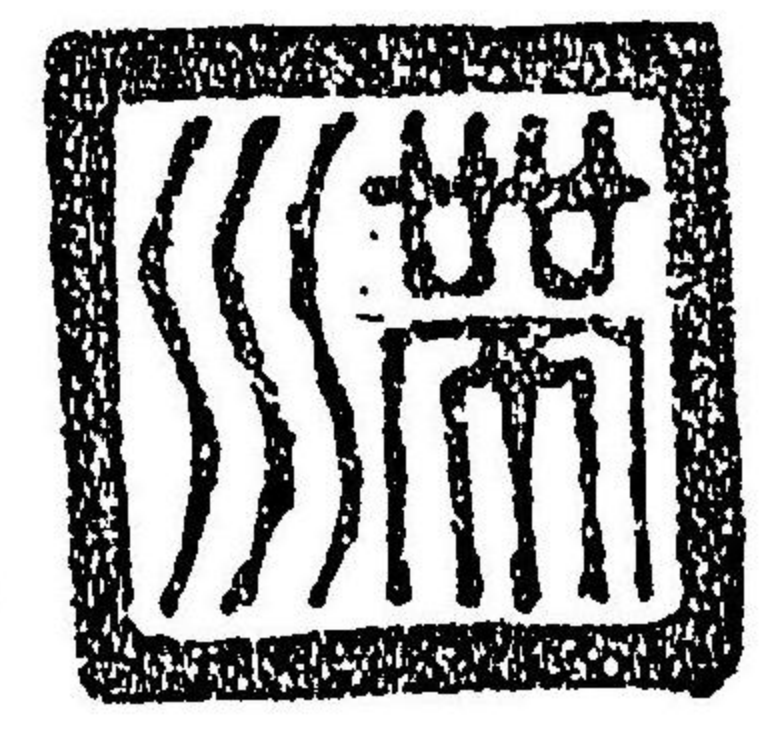
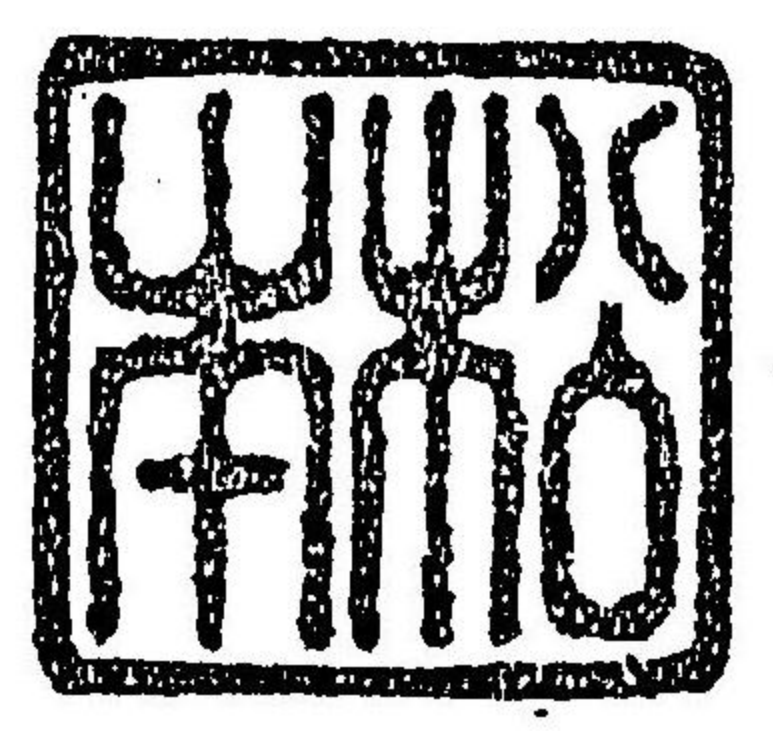
ソレ世上ノ本末ヲ執カシフルニ白
樂天が蝸牛角上何ぞ又ヲカ異ハシ
石火光中此ノ身ヲ寄スト云へ
ルが如ク綜テ無益ナル夢物語
似タレド也夕古語ノ語ニ仁
大道ノ廢スル所ニ出テ學
大偽ノ起ル時ニ盛ンナリ
レバウ猪ガハシキ一ハ論ジテ

蝸牛角上論

而ノ后子憲ヲ決ムルニ妨ナシ方
今短慮浅智ノ者猥リニ神典ニ注
釋ヲ下シ却テ錯リヲ釀ス乎ニ先言
空シカラズ故ニ二葉ニシテ伐ズンバ斧
戈ヲ用ユルニ愾ルト古語モ云ヘリ且夕
粵ニ谷々僻アリ好饒ノ嗜釀ヲ訥ル
一恒ネナリ然レ正ヲ以テ邪ヲ繩スハ
僻トセス營々之旨卑旨ヲ牽クノ蓄
ヒヲ裒ルガ与ノナリ噫嘻耳目ハ臆病

ノモノニシテ聆テ怖レ看テ盪
攸ヨリ假シ憲シノ論ヲ生ズ先師
四天王寺琴嶺杜多臨未余ヲ整言
曰ク目アリテ昏ノ如ク耳アリテ聾
ノ如クセヨト余服膺シテ恒ネニ忘
ルノ一ナシト毎モ動モスレバ世ノ栄衰
ノ夕夕ニ塵囂中ニ墜チ入ルヲ脱レズ
星霜三セ更フ忽トノ一夢ノ若シ鳥虜
先師眞責還夕裒ルニ剗リアリ

愕然トシテ照顧スレバ遅ル光氣竹前ヨ
リモ疾カニシテ豈悠惰ノモノヲ疾ン
ヤ畢竟詮ナキ術サナメレバ目テ
蝸牛角上論ト云フ



蝸牛角上論

愛國ノ説

愛國ノ大意ト謂ハ先ツ人民ヲ
保護スルヲ第一トス所以者何ソ
レ百般ノ事業ハ馨ク民ノ手ヨリ
出ヅル故ナレバナリ曰ヲ式テ

明治天皇純テ人民ヲ安ジ損命ノ
モノヲ惜マセ玉フ國人ノ幸福之レヨリ
宏ヒナルハナシ次テ文武ノ兩道ナリ

國體ヲ教へ知哉ナラシムルハ文字
ニアリ王土ヲ衛リ寸地ヲ掠メラレザル
ハ武威ニアリ故ニ教ト孝トヲ置セラ
レ徵兵ヲ課セラル次テ土産國産等ナ
リ然ルニ人民保護並ニ文武等ノ
ヲ講セザルハ頗ル疎ニシテ愛國ノ本旨
ヲ失フニ似タリ又土産土産ハ素著ヲ小
トシ米穀ヲ大トス輕重小大綜別ノ
折チヲ存スルヲ要トス倘シ文武教孝

等ニ疎ナレバ文明ノモノ出ル期アル
ナシ故ニ禮記ニ教ハ民ノ寒暑ナリ
教へ不時則傷世トアリ文武隆ニテ
開化ノ今日ニ投リ韶夏ノ完キハ
教リノ莊カナルナリ且夕哀公問ニ愛ト
敬トハ其レ政ノ本与トアリ日本書記
持統紀ニモ尊朝愛國ト詔リシ玉フス
古モ邪教ヲ信ジテ國體ヲ淫ルモノ
アリシニ凭チナリ這ノ尊朝トノ玉

フ文勢ハ其ノ意味深長ニノ自然
文武ノ道ヲ兼不衡ノリ克々思惟
シテ愛國ノ旨ニ粗語スルコトナクシ
ハ可シ

忍穂耳尊父母ノ事宗

神皇正統紀言ク素盞鳴尊ノ日ノ神
ニ奉ツラレケル玉ニ感ノ男神化生シ玉ヲ
トアリ也夕古典等ニ載スル所モ太際
同意ナリ余訝ルコト年曰シ邂逅旋

方ノ容若州ノ惇典ナル者度會
推ノ祢宜出口延佳ガ書ナリト
テ携ヘ来テ余ニ似ス其書ニ曰ク
尊ノ御母ハ出雲ノ國ノ神脚摩手乳
手摩手乳ノ女稲田媛ナリ日ノ大神
育シテ御子トナシ玉ヲ後人ノ猜ヒテ
除ンタノ妹ニ録ストアリ余従前ノ疑
ヒ扱テ瓦解氷消ス然ルニ世人惑ヒテ
生ズ日ノ大神ト素盞鳴尊トハ兄弟

ノ中ツネニ不和ナリ故ニ曰ニ論
シテ以テ邪見ヲ拒ギ薄カ吾が祖
先ノ鴻恩ニ醜ントス且ツ諾冊ニ尊
ハ昏姻ノ祖ナルニソノ子孫トシテ
昏姻ナクハ怠ゾ忍穂耳尊アレマス
トヲ得ニヤ儻シ玉ノ化生トセハ神孫
ノ崇キヲ誣フルニ似タリ猶ホマタニ
尊ノ神慮ニ悖リ更ニ世人ヲ欺誑
シテ謀ニ靖カラズ故ニ這ノ正説ヲ救

挙シテ後隆ニ具ントス且ツ古典ニ
載スル攸ハ忍穂耳尊ヲ前ヘニ録
シ御母稲田媛ヲ後チニ記ス前後
ノケチノ端シカラサルハ古典ノ常
ナリソノ故ハ上古隲レル國典等
靡シ卅四主推古帝已降書傳アリ村主
天武帝口授傳卑ノ攸ヲ親テ教ヘテ
甫テ稗田ノ阿禮ヲシテ古事記
ヲ撰セシムトナリ孟子云ヘルアリ書

コ罄ク信セバ書ナキニ如カジト宜
ナルカナ蛇足安添ノ疑ハニキ説
ハ信スルニ足ラズ学者ハ緯ノ案ヲ
決ムルヲ要トス今マ余ガ暢ルハ極
ク眼前ノ理ノミ深秘ノ意ハ闕ヒ
知ルコトニアラズ然リト毎モ述異
記等ノ説ニ較ブレバ奇恠ノ語モ
強チニ黜ソルニアラズ後漢書西南
夷傳夜郎候竹王ハ竹ノ中ヨリ生スト

云ヘリ其類ヒ太ク黜シ之レ等ノコトハ
逸莫吾カ祖先ハ奇恠化生ノ屬ヒニ
アラサルコト詳カナリ

天ノ旋轉ノ狀チノ説

旧事日本記卅一敏達帝十三年ニ
上宮太子ト高麗ノ博士学弼ト問
答アリ太子曰ク蕃國ノ真モ聖モ已
ニ以テ横ト云フ何ゾ多聖ヲ疑ヒテ
一凡ラ信センヤ神聖ハ視テ言ヒ凡

史記卷之九十四
匈奴列傳第九十四
匈奴列傳上論

敏ハ議テ云フト学寄此ノ語ヲ信
伏シテ退ク承女クハ本記ニ就テ看
ルベシ且夕神代卷ニ伊弉諾伊弉册
尊ノ國土山海ヲ産ミ至フトアルハ人
ヲ以テ造化ヲ云フ有形ノ二尊ニハ
アラズ陽神左ニ旋リ陰神右ニ旋リ
分レテ國ノ柱ヲ巡ルハ氣氣運行ヲ
云フトアリ旃レ即チ旋轉ナリ國ノ
柱ヲ巡ルトハ橫轉ナリ地軸ノ上下

轉倒スルヲ云フニアラズ故ニ余ハ種
管ニ國典ノ正説ヲ信ジ陪ルナリ

古事記畧解ノ説

明治版ノ古事記畧解一ニ國種ク浮
ア脂ノ如クシテ久羅下那洲多陀
用幣琉之時ニトアル本文ノ下ニ國種
クノ國ト外國人ノ云ヘル地誌トハ其
ノ國土ノ地体昇ニシテ大小綜別ノ夕
ガヒアレバナリト録セリ余モ也夕

按ズル攸アリソレ方國早ナル地体
ナシ唯ダ一基ノ地軸ニシテ太陽ノ
潤ク弥リ大地ノ洽ク扱ズル処尽ク
太陽造化ノ功績ナリ故ニ人民論
ニモ崇造化之真宰ト云ヘリイカ
ニトナレバ別ニ照ス日月ナキガ故ナ
リ只タ先神ノ領國ナルヲ以テ神國
ト称スルノミ且タ多陀用幣疏之時ニ
ト八國土ノ未タカタマラザルニハアラズ

規則法度ノ定リナキ時ヲサス意
ナリ八雲御鈔ニ曰ク氣ヤウハ即チ神
ナリトアルガ如ク國土統テ太氣ヲ
以テ造化之真宰トス經星論ニ視
上帝之妙造神能有不可思擬者ト
ノセリ此ノ妙造神能トハ太氣ノ神
ノ惠沢ナリ今マ茲ニ古典洋書等
ヲ引用スルハ方國一般ノ太理ヲ説
キ世人ノ邪途ニ迷ラニトヲ畏ルハ

ノミ

同ク畧解ニニ於高天原ニ成リマセ
 ル神ノ名ハ天之御中主神次ニ高
 御産巢日神神産巢日神此ノ三柱
 ノ神者並ニ独リ成^{ナリ}堅^ミシテ身ヲ
 隠シ玉フトアル本文ノ下ニ産神ノ
 大神ヨリ魂ヒヲ産ミ成シ造リカタ
 ノテ諸人エクマリ手へ玉フトモ諸人
 ニ自己本有ノ魂ヒナクバ何者カソラ

納受スベキヤ誠ニキコヘヌトナレバ
 ナリト記セリ余モ也夕按ズル攸ア
 リソレ神ノ分心分懸トアレバコソ
 神孫ナレ且ツ魂ヒヲ産ミナシ^{アタ}手
 へ玉フトハ則チ天^ニ産ナリ夫^レ絨ナリ
 太氣ノ惠沢ナリ造化ノ真宰ナ
 リ天然ノ妙用常住不変ノ太理ナ
 リ故ニ神氣一致神人不二別ニ自己
 本有ノ魂ヒアルナ^クナシ如シ別ニア

リトセバ神ノ御魂分レトバマル
攸ナリト云フ神典ニタガヘリ故
ニ水質論ニモ皆ナ恩稟域宇宙中
和之熱故ニ矢熱則万物不成形ト
アリ此ノ熱トハ太氣ノ惠沢ナリ
亦夕次ニ何ノタシニ魂ヒヲ産ミ与
ヘテ人ヲ造リソノケン未審シト
記シ又夕ソノ次ニ何レノ神典ニ出
デタルトニヤト疑ヒヲ残セリ余

ソノ一ニヨ拳テ証トセンソレ与魂
ノ説ハ神判記稟神教要旨神
教細領等ニ罔然タリ披キ看ル
ベシ日本記ニ先神廣大ノ理ハ悟
者ノ知ラザル処理者ノ達セザ
ル処ナリトアリ這ノ廣大ノ理ト
ハ万国一般ノ地体一般ノ造化ナリ
此ノ理ニ於ケルヤ國典儒典佛書
洋書僉ナニソ罔根昇説アルノミ

之レヲ万物一体ノ元理トス然ルニ
古典洋書等ヲ引用スレバ牽強附
會ノ語ナリトスルノ漢モアレド忌
日祥月等ノ祭リハ禮記ニヨル処
ナリ佛說譯經ハ儒士ノ制衣文ナリ
怎ナズ儒ニ附會スト云ハサルヤシヤウ蠢
愚ウ喬キョウ整テイニシテ生涯ヲ誤ルノミナ
ラズ學者ヨシテ冥メイキニ入ラシム
ルノ孽ワザワヒヲ釀ワカス加旃カシマ洋書ヲ拳

ゲテ万国一致ノ太理ヲ曉サトサントス
レバ天ヲ談ズルハ佛家ノ事ニ
アラズト云フ漢モアレド佛說ニ
三十三天アリ阿毘曇論俱舍論等
三二十五有アリ毘婆沙論ニ欲界色
界無色界等ノ廿八天アリ假初二モ
胡ウ亂ランノ說ヲナス一母レ學者ハ祇
夕宗說ヲ宗トス也夕餘白アルノ
序テ抔ニ陳スル一アリソレ問題

十説ノ辨解ニモ冥官ノ納レタカ
ヘタル人魂竝ニ殺生石等ノ説
ハ書籍シヤシニモノセテ屢々アレド完
ク妄誕ナレバ信ズベカラズ故ニ
書ヲ尽ク信セハ書ナキニ如カジト
云ヘリ上ノ件々ノ論説ハ只ダソ
ノ人ニシテソノ落処ヲ知ルアリ取
舎ハ看ル人ノマニク

跋

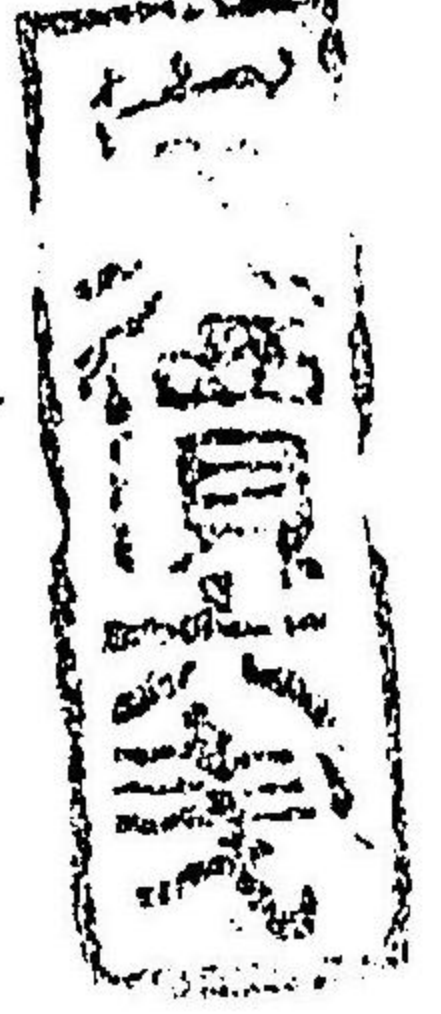
原ルニソレ天地間ハ一圏器中ニシテ
昇ナル地理アルナシ故ニ小智小
見ヲ以テ一言半句ト毎モ撰リ
ニ説ベカラザルハ古喆ノ誠ノナ
リ如何ニトナレバ將錯就錯ノ蓄
ヒヲ生ズレバナリ今マ這ノ小冊子蠅
牛角上論ヲ看ニ洋書ヲ引テ万
國一般ノ大理ニシテ昇ナル地体ナ
キヲ問カニシ天ノ旋轉ノ狀チヲ

論ジテ以テ國典ノ正シキ見ハシ恐
總耳尊ノ父母^ト莫^ト宗^トヲ明カニシテ
諾冊二尊ノ先蹤ヲ崇^トニ陪^トリ愛
國ノ本旨ヲ録シテ教議ニ齟齬
セシ^ト一^トヲ禦^トグ貪道^ト闕ル^ト一^ト回
シテ直^トチニ之レガ尾^トニ識^トル^トス

老衲 西原曇英



明治十三年二月一日御届
同年 四月十日出版



著人 三重縣卒民
教導職試補

松本帶川

曹洞宗久安寺先住
伊勢多氣郡南藤原村二番地

出版人 同 権訓導

西原曇英

同 宗普門寺住職
同 同郡北藤原村六番地

製本兼賣捌人 同

岡田圓藏

同 同飯高郡松坂町百平番地

論ジテ以テ國典ノ正シキヲ見ハシ恐
德耳尊ノ父母夏宗ヲ明カニシテ
諾冊ニ尊ノ先蹤ヲ崇ミ陪リ愛
國ノ本旨ヲ録シテ教議ニ齟齬
セシコトヲ禦グ貪道闕ルコト一回
シテ直子ニ之レガ尾ニ識ルス

老衲 西原曇英



明治十三年二月一日御届
同年 四月十日出版



著人 三重縣卒民 教導職試補 松本帶川

曹洞宗久安寺先住
伊勢多氣郡南藤原村二番地

出版人 同 権訓導 西原曇英

同宗普門寺住職

同国同郡北藤原村六番地

製本兼賣捌人 岡田圓藏

同国飯高郡松坂町百六番地

